









降雪に対する農作物の管理について

令和5年1月20日
農業技術課

この先の天気予報によりますと、23日(月)は、南岸低気圧の影響で天気が崩れ、一時雨か雪の可能性があります。南岸低気圧の進路によっては、積雪の可能性もありますので、最新の気象情報を確認し、積雪の場合は次の事項を確認し、適切な対策を講じてください。

山梨県の天気予報 (7日先まで)									
2023年01月20日11時 甲府地方気象台 発表									
日付	今日 20日(金)	明日 21日(土)	明後日 22日(日)	23日(月)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	
山梨県	晴 	晴 	晴後曇 	曇一時雨か雪 	曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	
降水確率(%)	-/-/10/10	0/0/0/10	20	50	40	20	20	30	
信頼度	-	-	-	C	B	A	A	B	
甲府 気温 (°C)	最高	12	10	8 (5~11)	9 (7~14)	8 (6~11)	4 (1~6)	5 (3~8)	8 (5~11)
	最低	-	-2	-2 (-3~0)	0 (-2~2)	-4 (-7~0)	-8 (-11~-6)	-10 (-13~-8)	-8 (-13~-5)

※最新の気象情報に注意してください。

◎降雪対策

- ・加温中のハウスでは、降雪直後から二重カーテンを開放し加温を始め、融雪に努める。また、燃料についても十分補充しておく。
- ・加温前のハウスでは、谷や巻き上げたビニールなどへの積雪には注意し、積雪が増える場合には荷重バランスに注意しながら、速やかに除雪する。
- ・ブドウ、スモモ、雨よけハウス等で、防鳥網を広げてある園では防鳥網を除去する。
- ・棚栽培では、支柱などで補強するとともに、粗切り剪定を行い棚への着雪を少なくする。
- ・棚や施設に雪が積もった場合は、棚等の荷重バランスに注意しながら、できるだけ速やかに除雪する。
- ・立木類では、着雪による枝折れを防ぐため支柱などで補強を行う。

○野菜・花き

- ・加温ハウスでは雪が積もる前から暖房機を稼働させるとともに、二重カーテンをあけて融雪に努める。
- ・無加温ハウスでは、補助支柱を設置して補強し、積雪が多く予想される場合は、簡易ストーブで早めに加温し、融雪させる。
- ・カリフラワーなどのトンネル栽培では、積もった雪は早めに除雪し、押しつぶされる等の被害を防ぐとともに、トンネル内が加湿状態にならないよう換気に注意する。
- ・スイートコーン等のトンネルの準備を行うほ場では、堆肥の散布による融雪対策等を行い、準備が遅れないようにする。
- ・未使用ハウスではビニールを巻き上げるか、除去し、積雪による倒壊を避ける。

なお、農業技術課HPに農業用ハウスと果樹棚の雪害防止対策指針（大雪に対する技術対策資料）を掲載していますので参考として下さい。

<https://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/kisyousaigai.html>